

平成 25 年 11 月 14 日

松山河川国道事務所調査第一課

かいほつかすみ  
「第 4 回開発霞ワークショップ開催」

～重信川開発霞の自然再生に向けた整備内容策定に向けた協議を実施～

東温市上村の重信川開発霞（かすみの森公園）において、自然環境復元に向けた計画づくりを議論する第 4 回目のワークショップを開催します。

## ◆日時

平成 25 年 11 月 20 日（水） 10:00～12:00

## ◆場所

東温市役所 4 F 405 会議室

（東温市見奈良 530-1）TEL：089-964-2001

## ◆開発霞ワークショップ

「開発霞ワークショップ」は、学識者 4 名、公募メンバー 15 名、オブザーバー（行政等）4 名の合計 23 名で構成されています。今回は、保全・再生対象生物（整備後の目標種）策定に向けて議論を行い、具体的な整備内容（ゾーニングに基づき再生する泉・小川の構造等）を議論します。また、整備後の維持管理や利活用について、既往整備箇所状況を踏まえて議論します。予定している議事内容は以下のとおりです。

○第 3 回ワークショップの振り返り

○保全・再生対象生物

○開発霞自然再生の整備内容

○維持管理・利活用

## ◆備考

・傍聴、撮影は自由ですが、進行中に発言はできません。進行の妨げになると事務局が判断した場合は、退場していただく場合があります。

・質問等については、ワークショップ終了後事務局が対応します。

詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：関谷 浩二（内線：204）

◎ 調査第一課長：岩本 康宏（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

◎：主な問い合わせ先

# 第3回 開発霞ワークショップの概要

(参考)

日時・場所

平成25年10月9日(火) 15:00~17:00

東温市役所403会議室

## 第2回ワークショップの検討結果および今回の検討課題

ファシリテーターの二神先生より、第2回ワークショップの検討結果および、これにもとづく今回の検討課題について説明がありました。

- ①「水の確保」について
- ②「開発霞自然再生の整備内容」について
- ③「保全、再生対象生物」(指標種)について



## 意見交換

今回のワークショップ参加メンバー13名が3班に分かれ、検討課題について意見交換を行いました。抽出した意見を付箋紙に記入し、各班ごとに意見集約を行いました。



## 意見発表および総括

各班で集約した意見について、代表者による発表が行われました。最後に、ファシリテーターの二神先生より、総括として以下のコメントを頂きました。

### ◇ゾーン区分について

- 全区間に雑木林を植えてという自然重視の意見と、よく使われているので、使い勝手よく使っていこうという利用重視の意見があった。

### ◇既設水路の改造について

- 上流の泉については自然のままにしておいて、ジャブジャブ池は親水性のあるものにしようという意見があった。
- 水路をどういう構造や形状に改造するか、植生をどうするかについては、何をどう保全すべきかによって違って来る。次回、もう一度ここから議論し話し合いをしないとまとまっていけない。

### ◇樹林・観察道について

- 樹木については「何か目玉になるものを植えては」という意見があった。
- 外来種の進入を想定し、メンテナンスのし易い設計や、あまり植生を増やさないといい検討も必要という意見があった。

